

藤田特許法律事務所

大阪市北区西天満2丁目8番1号大江ビル3階

Tel 06-6364-0693

Fax 06-6365-5473

平成27年2月25日

株式会社テーラーヨシムラ 殿

担当： 中谷



PCT特許願No. PCT/JP2014/003467 「ポケット口の閉止構造」

当所ファイルNo. 1-001-PCT

謹啓 貴社益々ご清栄の段お慶び申し上げます。

標記件について、国際事務局から重要な通知を受取りました。

国際事務局が2015年01月08日付公表公報を発行しました。

ご査収ください。

敬具

添付書類： 国際事務局からの通知、公表公報

From the INTERNATIONAL BUREAU



**PCT**

NOTIFICATION CONCERNING  
AVAILABILITY OF THE PUBLICATION  
OF THE INTERNATIONAL APPLICATION

To:

**COPY**

**RECEIVED**  
2015. 1. 21  
FUJITA  
PATENT LAW  
OFFICE

FUJITA, Kunihiko  
3rd Floor Oye Bldg., 8-1, Nishitenma 2- chome, Kita-ku,  
Osaka-shi, Osaka  
5300047  
JAPON

Date of mailing (day/month/year)  
08 January 2015 (08.01.2015)

Applicant's or agent's file reference  
001PCT252005

**IMPORTANT NOTICE**

International application No.  
PCT/JP2014/003467

International filing date (day/month/year)  
30 June 2014 (30.06.2014)

Priority date (day/month/year)  
05 July 2013 (05.07.2013)

Applicant  
KABUSHIKI KAISHA TAILOR YOSHIMURA

The applicant is hereby **notified** that the International Bureau:

has **published** the above-indicated international application on 08 January 2015 (08.01.2015) under No. WO 2015/001784

has **republished** the above-indicated international application on under No. WO  
For an explanation as to the reason for this republication of the international application, reference is made to INID codes (15), (48) or (88) (as the case may be) on the front page of the published international application.

A copy of the international application is available for viewing and downloading on WIPO's website at the following address: [www.wipo.int/pctdb](http://www.wipo.int/pctdb) (in the appropriate field of the structured search, enter the PCT or WO number).

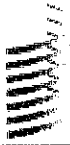
The applicant may also obtain a paper copy of the published international application from the International Bureau by sending an e-mail to [patentscope@wipo.int](mailto:patentscope@wipo.int) or by submitting a written request to the contact details provided below.

The International Bureau of WIPO  
34, chemin des Colombettes  
1211 Geneva 20, Switzerland

Facsimile No. +41 22 338 82 70

Authorized officer  
**Mineko Mohri**

e-mail: [pt08.pct@wipo.int](mailto:pt08.pct@wipo.int)



PATENTSCOPE

Search International and National Patent Collections

Mobile | Deutsch | Español | Français | 日本語 | 한국어 | Português | Русский | 中文 |

Search Browse Translate Options News Login Help

Home IP Services PATENTSCOPE

1. (WO2015001784) CLOSING STRUCTURE FOR POCKET OPENING

PCT Biblio. Data Full Text National Phase Notices Drawings Documents

Machine translation

明細書

発明の名称

技術分野

0001

背景技術

0002 0003 0004

先行技術文献

特許文献

0005 0006

発明の概要

発明が解決しようとする課題

0007 0008 0009

課題を解決するための手段

0010 0011 0012 0013 0014 0015

発明の効果

0016 0017 0018 0019 0020 0021

図面の簡単な説明

0022

発明を実施するための形態

0023 0024 0025 0026 0027 0028 0029 0030 0031 0032 0033 0034 0035 0036 0037 0038 0039 0040 0041 0042 0043 0044 0045 0046 0047 0048 0049 0050 0051 0052 0053 0054 0055 0056 0057 0058 0059 0060 0061 0062 0063 0064 0065 0066 0067 0068 0069 0070 0071

産業上の利用可能性

0072

符号の説明

0073

請求の範囲

1 2 3 4 5 6

## 図面

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

## 明細書

## 発明の名称：ポケット口の閉止構造

## 技術分野

[0001] 本発明は、携帯電話やスマートフォンを含む各種の収納物を収納することができるポケットのポケット口閉止構造に関するものである。

## 背景技術

[0002] 近年、携帯電話やスマートフォンが広く普及し、外出する際には必ず持ち歩く習慣が身に付いている。この携帯電話やスマートフォンを含む各種の収納物を携行するに当たって、通常、バッグを持っている場合にはその中に、また、上衣やシャツを着用している場合にはそのポケット内に収納している場合が多い。なお、これら以外の場合には、ズボンやスラックスを含む各種のボトムスのポケットに収納しているものと思われる。

[0003] 上衣やシャツその他の衣類のポケットに前記収納物を収納した場合には、前かがみになるとポケット口から収納物が滑り落ちやすく、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出す危険がある。そこで、ポケット口に蓋やボタン、ファスナーを取り付けてそれを防止するのが最も一般的である。

[0004] また、このような手法とは異なり、ポケット口の上部に袋状の布を左右両側に配置し、収納物を左右上部コーナー部分において押えるようにしたもの（例えば、特許文献1）や、衣類の表布の表面にポケット布を縫着し、そのポケット口内において前記ポケット布に略逆三角形又は略四角形状の蓋布を縫合させたもの（例えば、特許文献2）などが提案されている。

## 先行技術文献

## 特許文献

[0005] 特許文献1：実願昭56-122228号（実開昭58-027320号）のマイクロフィルム（特に、実用新案登録請求の範囲、第3図）

[0006] 特許文献2：登録実用新案第3177327号公報（特に、請求項2、図2）

## 発明の概要

## 発明が解決しようとする課題

[0007] ここに例示した先行技術は、要するに、ポケット口付近に袋状の布や略逆三角形又は略四角形状の蓋布を設け、ポケットに投入した収納物をポケット上部のコーナー部分において押えることにより、収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのを防止するものである。

[0008] このような場合には、ポケット口付近において袋状の布や蓋布を縫合しなければならないので、それだけ手間を要するのみならず、材料費も多く掛かることになる。

[0009] 本発明は、このような欠点を解消することを目的とするもので、ポケット口のポケット布に工夫を凝らすことによって、従来のような袋状の布や蓋布を必要とすることなく、ポケットに投入した収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのを防止することができるようにしたものである。

## 課題を解決するための手段

[0010] 本発明では、ポケット布端縁部をポケット内方に折り返すとともに、折り返された部分をポケット口の幅方向の途中でねじっている。

このようにした場合には、ポケット内方のねじられた部分が袋状になり、この袋状の部分でポケットに投入した収納物のコーナー部分を覆うことができるので、極めて簡単な構成で当該収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのを防止することができる。

[0011] ポケットが内外2枚のポケット布で形成されている場合において、内外2枚のポケット布端縁部をポケット内方に折り返すとともに、2枚の折り返された部分をポケット口の幅方向の途中の右側と左側とで反対方向にねじって、2枚の反対方向にねじられた部分でポケット口を閉止し得るようにするのが良い。

このようにした場合には、ポケット内方の2枚の反対方向にねじられた部分が左右とも袋状になり、左右2つの袋状の部分で

ポケットに投入した収納物の少なくとも一方のコーナー部分を覆うことができるので、ポケットに投入した収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのをより一層防止することができる。

- [0012] ねじって起された部分において、ポケット口の外側を幅方向に一定幅縫合してポケット口を小さくしておくが良い。  
このようにした場合には、ポケット口の外側を幅方向に一定幅縫合した分だけポケット口が小さくなり、袋状になっている部分でポケットに投入した収納物のコーナー部分を確実に覆うことができるので、当該収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのをさらに防止することができる。
- [0013] ポケット布の下側を内側に折り返して袋状とし、その下縁から一定高さ隔てた折り返し端縁を、衣類の表布に横方向に縫着しておくが良い。  
このようにした場合には、袋状になっているポケットの裾部分はふらし（縫合されていない状態）となっており、ポケットに投入した収納物の下部をふらしとなっている袋状部分に納めることができるので、当該収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのをより一層防止することができる。
- [0014] ポケット口から投入した収納物を受け止める受底部を有し、この受底部に通じる取出口を衣類の表布との間に設けておくが良い。  
このようにした場合には、ポケット口から投入した収納物を受底部で受け止めることができ、この受底部に通じる取出口から手指を差し込むことにより、受底部で受け止められている収納物を極めて簡単に取出口から取り出すことができる。
- [0015] ポケット口が上向きではなく、横向きあるいは斜めを向いていても良い。ポケット口が上向きの場合において前かがみになると、ポケットに投入した収納物がポケット口から滑り落ちるといった不安を抱く場合があるが、ポケット口が横向きあるいは斜めを向いている場合には、そのような不安が一切なく、安心してポケットに収納物を投入することができる。特に、ズボンやスラックスのようなボトムスのポケットに、あるいは、ジャケットやブルゾンのように斜めを向いているポケットにこの発明を適用すると、上記効果はより顕著である。

## 発明の効果

- [0016] 請求項 1 記載の発明によれば、ポケット内方のねじられた部分が袋状になり、この袋状の部分でポケットに投入した収納物のコーナー部分を覆うことができるので、極めて簡単な構成で当該収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのを防止することができる。
- [0017] 請求項 2 記載の発明によれば、ポケット内方の 2 枚の反対方向にねじられた部分が左右とも袋状になり、左右 2 つの袋状の部分でポケットに投入した収納物の少なくとも一方のコーナー部分を覆うことができるので、ポケットに投入した収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのをより一層防止することができる。
- [0018] 請求項 3 記載の発明によれば、ポケット口の外側を幅方向に一定幅縫合した分だけポケット口が小さくなり、袋状になっている部分でポケットに投入した収納物のコーナー部分を確実に覆うことができるので、当該収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのをさらに防止することができる。
- [0019] 請求項 4 記載の発明によれば、袋状になっているポケットの裾部分はふらし（縫合されていない状態）となっており、ポケットに投入した収納物の下部をふらしとなっている袋状部分に納めることができるので、当該収納物がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口から収納物が飛び出すのをより一層防止することができる。
- [0020] 請求項 5 記載の発明によれば、ポケット口から投入した収納物を受底部で受け止めることができ、この受底部に通じる取出口から手指を差し込むことにより、受底部で受け止められている収納物を極めて簡単に取出口から取り出すことができる。
- [0021] 請求項 6 記載の発明によれば、ポケット口が横向きあるいは斜めを向いているから、ポケットに投入した収納物がポケット口から滑り落ちるといった不安が一切なく、安心してポケットに収納物を投入することができる。特に、ズボンやスラックスのようなボトムスのポケットに、あるいは、ジャケットやブルゾンのように斜めを向いているポケットにこの発明を適用すると、上記効果はより顕著である。

## 図面の簡単な説明

- [0022] [図1] 本発明によるポケット口の閉止構造を、ポケット口が上側にあるシャツに適用した一例を示す正面図で、合わせてその一部を拡大して示す。  
[図2] 図 1 に示すポケット口の閉止構造を表わす概略斜視図である。  
[図3] 図 1 の A - A 線に沿う断面図で、(a)はポケットに収納物が入っていない場合を、(b)は収納物が入っている場合を示す。  
[図4] 図 1 に示すポケットと底が異なり、ポケット口に相当するポケット布の上端縁部を一定高さポケット内方に折り返した点では図 1 に示すポケットと共通するポケットのポケット布のみを示す背面図で、(a)はポケット布の下側を内側に折り返して袋状とした状態を、(b)はポケット布の上端縁部をポケット内方に折り返した状態を、(c)は上側の折り返した部分の下端部をポケット口の幅方向の途中でねじった状態を示す。  
[図5] 図 4 に示すポケット布を用い、その下縁から一定高さ隔てた折り返し端縁を、シャツの表布に横方向に縫着した形式のポケットの断面図で、(a)はポケットに収納物が入っていない場合を、(b)は収納物が入っている場合を示す。  
[図6] 図 3、図 5 に示すポケットとはさらに異なり、ポケット口から投入した収納物を受け止める受底部を有し、この受底部に通じる取出口を衣類の表布との間に設けた形式のポケットを示す図で、(a)はその断面図、(b)は(a)の V I - V I 線より下の部分を矢印方向から見た図で、シャツの表布を省略した状態を示す。  
[図7] 図 1 に示すポケット口の閉止構造とは異なる別のポケット口の閉止構造の一例を示す正面図で、(a)は外側に位置するポケット布を、(b)は内側に位置するポケット布をそれぞれ示し、(a)、(b)に示す内外 2 枚のポケット布の上端縁部をポケット内方に折り返すことにより、2 枚の折り返された部分の下端部をそれぞれポケット口の幅方向の途中で互いに向い合わせねじった状態をなす。

端を縫着した状態を示す。

[図8] 図7に示すポケット口の閉止構造の断面図である。

[図9] 図1、図7に示すポケット口の閉止構造とはさらに異なる別のポケット口の閉止構造の一例を示す正面図で、(a)は外側に位置するポケット布を、(b)は内側に位置するポケット布をそれぞれ示し、(a)、(b)に示す内外2枚のポケット布の上端縁部をポケット内方に折り返すとともに、2枚の折り返された部分の下端部材をそれぞれポケット口の幅方向の途中で左右反対方向にねじった状態で左右両端を縫着した状態を示す。

[図10] 図9(a)に示すポケット布を図9(b)に示すポケット布に重ね合わせて左右両端を縫着した状態を正面側から見た図である。

[図11] 図10に示すポケットのポケット口を開いた状態を示す図であって、(a)は拡大概略平面図、(b)は概略斜視図である。

[図12] 図10のX11-X11線に沿う断面図で、収納物が入っている場合を示す。

[図13] 図10、図11に示すポケットをシャツに適用した一例を示す正面図である。

[図14] ポケット口が上向きではなく、横向きである場合のポケット口の閉止構造の一例を示す正面図である。

[図15] 本発明によるポケット口の閉止構造のさらに別の形態の作製工程の一例を工程順に示す平面図である。

[図16] 図15に示す工程により作製されたポケットの正面図で、表側にある生地の一部を切り欠いて示す。

[図17] 図16に示すポケットのポケット口部分の生地の重なり状態を説明するための模式図で、左右の縫着部分については省略した状態を示す。

[図18] 図16に示すポケットのポケット口を開いた状態を示す図であって、(a)は拡大概略平面図、(b)は概略斜視図である。

[図19] 図16、図18に示すポケットをシャツに適用した一例を示す正面図である。

[図20] 本発明によるポケット口の閉止構造のさらに別の形態を正面側から見た図である。

[図21] 図20のX21-X21線に沿う断面図で、収納物が入っている場合を示す。

[図22] 図20に示すポケットのポケット口部分の生地の重なり状態を説明するための模式図で、左右の縫着部分については省略した状態を示す。

[図23] 図20に示すポケットのポケット口を開いた状態を示す図であって、(a)は拡大概略平面図、(b)は概略斜視図である。

[図24] 図20、図23に示すポケットをシャツに適用した一例を示す正面図である。

## 発明を実施するための形態

- [0023] 本発明によるポケット口の閉止構造をシャツに適用した場合を例に挙げて、本発明を詳細に説明する。図1には、本発明によるポケット口の閉止構造を有するシャツSと、その一部が拡大して示されている。図2に、その概略を斜視図で示す。図1、図2に示すポケットPは、ポケット口1が上側にある最も一般的な形式のものである。
- [0024] この形式のポケットPにおいては、ポケット布pの左右の端縁部がいずれも同じ幅だけ内側に折り返されるとともに、ポケット口1に相当するポケット布pの上端縁部を一定高さ内側に折り返す。この折り返しの高さはポケット布pの左右の端縁部が折り返された幅よりも大きくしてある。そして、一定高さ内側に折り返した部分3をポケット口1の幅方向の途中で上側に向けてねじるとともに、ねじられた左右の端縁部分と前記左右の端縁部を内側に折り返した部分とポケット布pの下端縁部分とを、図1、図2において符号2で示すようにシャツSの表布sに縫合してある。ねじられた点を、図1、図2において符号aで示す。
- [0025] このようにすると、上側に向けてねじって起された部分3<sub>1</sub>でポケット口1を閉止することができるのと同時に、ポケット布pの上端縁部を内側に折り返した部分3で、ポケットPに投入した収納物Bの片方(図1、図2の右側)のコーナー部分を覆うことができるので、極めて簡単な構成で当該収納物Bがポケット口1から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口1から収納物Bが飛び出すのを防止することができる。なお、図2においては、左右の縫合線2<sub>2</sub>の位置を、作図に便ならしめるために、図1の場合よりも便宜上内側に位置させた状態を示す。
- [0026] そして、図1、図2において符号4で示すように、上側に向けてねじって起こされた部分3<sub>1</sub>を、ポケット口1の幅方向に一定幅だけシャツSの表布sに縫合する。
- このようにした場合には、シャツSの表布sに縫合した分だけポケット口1が小さくなり、袋状になっている部分5でポケットPに投入した収納物Bのコーナー部分を確実に覆うことができるので、当該収納物Bがポケット口1から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口1から収納物Bが飛び出すのをさらに防止することができる。
- [0027] 一方、図4では、図1、図2に示す場合とは異なってポケット布pの下側においても、図1、図2においてその上端縁部を一定高さ内側に折り返したのと同様に一定高さ内側に折り返して袋状6としてある。この袋状6とした状態で、ポケット布pの左右両端縁を、図1、図2において符号2で示す場合と同様に、表布sに縫合する。
- [0028] そして、ポケット布pの下側を内側に折り返して袋状6し、その下縁から一定高さ隔てた折り返し端縁を、図5において符号7で示すように、シャツSの表布sに横方向に縫着してある。
- この場合には、ポケット布pの下側を内側に折り返して袋状とした部分6は、表布sに縫合されていない。すなわち、袋状になっているポケットPの裾部分はふらし(縫合されていない状態)となっている。
- [0029] このようにした場合には、袋状になっているポケットPの裾部分はふらし(縫合されていない状態)となっており、ポケットPに投入した収納物Bの下部をふらしとなっている袋状部分6に納めることができるので、当該収納物Bがポケット口1から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口1から収納物Bが飛び出すのをより一層防止することができる。
- [0030] なお、図4に示すポケット布pは図1、図2に示すポケットPの場合と底が異なっている。ただし、ポケット口1に相当するポケット布pの上端縁部を一定高さ内側に折り返した点では図1、図2に示すポケットPと共通しており、上側に向けてねじって起された部分3<sub>1</sub>は、図4(c)では右側に現れる。そして、このポケット布pを上側に向けてねじって起こされた部分3<sub>1</sub>が図1、図2の左側に現れるようにシャツSの表布sに縫合する。
- [0031] 図1、図2に示す形式のポケットのように、ポケット口1を除いたポケット布pの他の3つの端縁部を衣類(シャツS)の表布sに縫合した最も一般的な形式のポケットに、本発明を適用できるほか、図4に示すように、ポケット布pの下側を内側に折

り返して袋状とした部分 6 を有するポケットにも、本発明を適用できる。

[0032] また、図 6 に示すように、ポケット口 1 から投入した収納物 B を受け止める受底部 8 を有し、この受底部 8 に通じる取出口 9 を衣類(シャツ S)の表布 s との間に設けたポケットにも本発明を適用できる。

この形式のポケットに本発明を適用した場合には、ポケット口 1 から投入した収納物 B を受底部 8 で受け止めることができ、この受底部 8 に通じる取出口 9 から手指を差し込むことにより、受底部 8 で受け止められている収納物 B を取出口 9 から極めて簡単に取り出すことができる。

[0033] 図 1、図 2 には、1 枚のポケット布 p を用いたポケット口の閉止構造の一例を示すが、これとは異なる別のポケット口の閉止構造にも、本発明を適用できる。図 7 は、2 枚のポケット布を用いたポケット口の閉止構造の一例を示す。同図(a)は外側に位置するポケット布 p<sub>o</sub> を、同図(b)は内側に位置するポケット布 p<sub>i</sub> をそれぞれ示す。この場合においては、図 7 (a)に示すように、外側に位置するポケット布 p<sub>o</sub> の上端縁部をポケット内方に折り返すとともに、折り返された部分 10 をポケット口 1 の幅方向の途中で上側に向けてねじる。なお、ねじった点を、図 1、図 2 の場合と同様に符号 a で示す。

[0034] そして、図 7 (a)において符号 11 で示すように、ねじって起された部分 10<sub>1</sub> をポケット口 1 の幅方向に一定幅だけシャツ S の表布 s に縫合する。

このようにした場合には、シャツ S の表布 s に縫合した分だけポケット口 1 が小さくなり、袋状になっている部分 12 でポケット P に投入した収納物 B のコーナー部分を確実に覆うことができるので、当該収納物 B がポケット口 1 から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口 1 から収納物 B が飛び出すのをさらに防止することができる。

[0035] 一方、図 7 (b)に示すように、外側に位置するポケット布 p<sub>o</sub> の内側で向かい合うとともに、シャツ S の表布 s に近い側に位置する内側のポケット布 p<sub>i</sub> の上端縁部を、外側に位置するポケット布 p<sub>o</sub> の上端縁部の折り返された側に、すなわちポケット内方に折り返し、この折り返された部分 13 をポケット口 1 の幅方向の途中で上側に向けてねじる。

[0036] そして、図 7 (b)において符号 14 で示すように、上側に向けてねじって起された部分 13<sub>1</sub> をポケット口 1 の幅方向に一定幅だけシャツ S の表布 s に縫合する。

このようにした場合には、シャツ S の表布 s に縫合した分だけポケット口 1 が小さくなり、袋状になっている部分 15 でポケット P に投入した収納物 B のコーナー部分を確実に覆うことができるので、当該収納物 B がポケット口 1 から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口 1 から収納物 B が飛び出すのをさらに防止することができる。

[0037] 特に、外側と内側の 2 枚のポケット布 p<sub>o</sub> と p<sub>i</sub> の上縁部の折り返された部分 10、13 において、その一方においては、上側に向けてねじって起された部分 10<sub>1</sub> が図 7 (a)の右側に現れるように、もう一方においては、上側に向けてねじって起された部分 13<sub>1</sub> が図 7 (b)の左側に現れるようにすれば、ポケット口 1 の左右両側において、外側と内側の 2 枚のポケット布 p<sub>o</sub> と p<sub>i</sub> の上縁部の折り返された部分 10、13 と、ポケット口 1 の幅方向の途中の左側と右側とで反対方向の上側に向けてねじって起された部分 10<sub>1</sub>、13<sub>1</sub> とで、ポケット口 1 を閉止することができる。したがって、ポケット P に投入した収納物 B がポケット口 1 から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口 1 から収納物 B が飛び出すのをさらに防止することができる。

[0038] また、図 9 に、図 1、図 2 および図 7 に示すポケット口の閉止構造とはさらに異なる別のポケット口の閉止構造の一例を示す。同図(a)は外側に位置するポケット布を、同図(b)は内側に位置するポケット布をそれぞれ示す。この場合においても、外側に位置するポケット布 p<sub>o</sub> と内側に位置するポケット布 p<sub>i</sub> の 2 枚のポケット布の上端縁部を、ポケット内方にそれぞれ折り返すとともに、2 枚の折り返された部分を同図(a)の左側と同図(b)の右側に示すように、ポケット口 1 の幅方向の途中の左側と右側とで反対方向の上側に向けてねじってある。

[0039] すなわち、外側と内側の 2 枚のポケット布 p<sub>o</sub> と p<sub>i</sub> の上端縁部の折り返された部分 16、19 において、その一方においては、上側に向けてねじって起された部分 16<sub>1</sub> が図 9 (a)の左側に現れるように、もう一方においては、上側に向けてねじって起された部分 19<sub>1</sub> が図 9 (b)の右側に現れるようにしてある。そして、図 9 (a)、(b)において符号 17 で示すように、外側に位置するポケット布 p<sub>o</sub> の上側に向けてねじって起された部分 16<sub>1</sub> を、内側に位置するポケット布 p<sub>i</sub> の折り返された部分 19 に重ね合わせ、その部分においてポケット口 1 の幅方向に一定幅だけ縫合する。また、図 9 (a)、(b)において符号 20 で示すように、内側に位置するポケット布 p<sub>i</sub> の上側に向けてねじって起された部分 19<sub>1</sub> を、外側に位置するポケット布 p<sub>o</sub> の折り返された部分 16 に重ね合わせ、その部分においてポケット口 1 の幅方向に一定幅だけ縫合する。

[0040] すると、図 11、図 12 に示すように、ポケット口 1 の左右両側において、外側と内側の 2 枚のポケット布 p<sub>o</sub> と p<sub>i</sub> の上端縁部の折り返された部分 16、19 と、上側に向けてねじって起された部分 16<sub>1</sub>、19<sub>1</sub> とでポケット口 1 を閉止することができる。したがって、ポケット P に投入した収納物 B がポケット口 1 から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口 1 から収納物 B が飛び出すのを防止することができる。

また、図 9 (a)、(b)における符号 17、20 による縫合分だけポケット口 1 が小さくなり、袋状になっている部分 18、21 でポケット P に投入した収納物 B のコーナー部分を確実に覆うことができるので、当該収納物 B がポケット口 1 から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口 1 から収納物 B が飛び出すのをさらに防止することができる。

[0041] なお、図 9 には表さないが、外側と内側の 2 枚のポケット布 p<sub>o</sub> と p<sub>i</sub> を使い、外側のポケット布 p<sub>o</sub> の下側を一定高さ裏側に〔衣類(シャツ S)の表布 s 側に〕折り返すことにより図 6 に示す受底部 8 を形成し、この受底部 8 に通じる取出口 9 を衣類(シャツ S)の表布 s との間に設けた場合にあっては、内側のポケット布 p<sub>i</sub> の下端縁近くにおいて外側のポケット布 p<sub>o</sub> と内側のポケット布 p<sub>i</sub> とを幅方向に一定幅縫着しておけば、外側のポケット布 p<sub>o</sub> の下側を一定高さ裏側に〔衣類(シャツ S)の表布 s 側に〕折り返した部分が、内側のポケット布 p<sub>i</sub> の下端縁の内側に戻りやすいので、この部分で前記受底部 8 に通じる通路を確実に閉鎖することができるようになり、受底部 8 で受け止められた収納物 B が前記通路を経て取出口 9 から滑り落ちるのをより一

- [0042] 図7、図9に示すように、ポケットPが内外2枚のポケット布 $p_i$ 、 $p_o$ で形成されている場合には、少なくとも外側に位置するポケット布 $p_o$ にシャツSの表布 $s$ と同じ生地を用いるのが好ましい。このようにした場合には、ポケットPおよびシャツS全体の体裁が良くなる。
- [0043] また、図7、図9に示すように、ポケットPが内外2枚のポケット布 $p_i$ 、 $p_o$ で形成されている場合には、少なくとも外側に位置するポケット布 $p_o$ の方が内側に位置するポケット布 $p_i$ よりもポケットの底からの長さ（高さ）が大きくなるようにしておくことが好ましい。このようにした場合には、内側に位置するポケット布 $p_i$ の上端縁部がポケット口1から見えにくくなるので、体裁が良い。
- [0044] 一方、ここまでの説明では、本発明によるポケット口の閉止構造を、ポケット口1が上側にある場合について説明したが、この閉止構造をポケット口1が横向き（図14）のポケットの場合にも適用できる。すなわち、図14に示すように、図1、図2に示す場合と同様の1枚のポケット布 $p'$ を用いてポケット口1が横向きとなるようにポケット布 $p'$ をシャツSの表布 $s$ に縫合し、この横向きのポケット口1において、図1、図2に示す場合と同様の閉止構造を有するものとする。なお、図14における各符号は、図1、図2における符号をそのまま用いることとする。また、図示はしないが、ジャケットやブルゾンのように斜めを向いている脇ポケットにも適用できる。
- [0045] このようにした場合には、ポケット口1が横向きあるいは斜めを向いているから、ポケットPに投入した収納物Bがポケット口1から滑り落ちるといった不安が一切なく、安心してポケットPに収納物Bを投入することができる。特に、ズボンやスラックスのようなボトムスのポケットに、あるいは、ジャケットやブルゾンのように斜めを向いている脇ポケットにこの発明を適用すると、上記効果はより顕著である。
- [0046] また、図示はしないが、図7、図9に示すポケット口の閉止構造を、すなわち、2枚のポケット布 $p_o$ と $p_i$ を用いたポケット口の閉止構造を、ポケット口1が横向きの場合にも適用することができる。
- [0047] 本発明によるポケット口の閉止構造のさらに別の形態であって、ポケット口が上側にある場合を例に挙げて本発明をさらに詳しく説明する。図15はその作製工程の一例を工程順に示す平面図である。図15(a)はポケットを形成するためのポケット布 $p$ の展開図で、上下両端部分の2本の折目線22、23でそれぞれ谷折りして3枚重ねとし、3枚重ねの部分24を同図(b)において符号24'で示すように縫着する。
- [0048] そして、上下両端間である途中において折目線25で谷折りし、さらに折目線26で山折りしてダーツが形成されるようにする。このダーツはポケットPに収納物Bを投入した場合に延びる部分であって、ポケットPに収納物Bを投入したときポケットの底の位置が下がって投入した収納物Bの上端がポケット口1よりも確実に下方に位置するようになり、ポケット口1から収納物Bが滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口1から収納物Bが飛び出すのを防止するのに役立つ。なお、折目線25で谷折りした端縁25'は裏側に位置することになり、折目線26で山折りした端縁26'は同図(a)において符号27で示す線上の表側に位置することになる。
- [0049] 次に、同図(b)において符号28で示す折目線にて山折りして符号28より下側の部分を、同図(c)の点線の矢印で示すように裏側に折り返して2枚重ねとする。そして、同図(d)に示すように、2枚重ねとなった前記3枚重ねの部分24、24のうち、片方（同図(c)の右側）の端部を2枚重ねのまま手前側（表側）に、反対側（同図(c)の左側）の端部を2枚重ねのまま裏側に折り返すとともに、両折り返し部29、29を同図(d)において符号30、31で示すように縦方向と横方向にそれぞれ縫着する。
- [0050] 図15(a)~(d)において、符号32はポケット口1の折り返し部分を形成するための折目線であり、次いで、同図(d)に示す状態から表面と裏面が逆になるように裏返すとともに、前記折目線32部分が同図(e)に示すようにポケット口1の上端縁部分32'となるようにすると、同図(d)において折目線32よりも上側に位置していた部分が同図(e)において点線で示すようにポケット作製中のポケット布 $p$ の内側に折り返されることになる。
- [0051] そして、ポケット作製中のポケット布 $p$ の左右端縁部分を符号33で示すように縦方向に縫着する。すると、上端縁部分32'にポケット口1が形成されたポケットPを作製することができ、同図(e)に示す状態からポケットPの表側と裏側とが逆になるようにひっくり返し、同図(f)において符号34で示すようにシャツの表布 $s$ に縫い付ければ、ポケットPとすることができる。
- [0052] なお、上述したように、図15(d)に示す状態から表面と裏面が逆になるように裏返した結果、同図(e)においては、折目線26で山折りした端縁26'は内側に現われ、折目線25で谷折りした端縁25'が外側に現われることになる。
- [0053] この場合におけるポケットPのポケット口1にあつては、図15(d)~図15(f)、図16~図18に示すように、表側（外側）の生地1aの折り返し部分1a'と裏側（内側）の生地1bの折り返し部分1b'の左右両端付近に左右2つの折り返し部29、29がそれぞれ形成されることになる。左右2つの折り返し部29、29をさらに詳しく説明すると、図17に示すように、表側の生地1aの折り返し部分1a'の一方の側（図面の右側）では、右側のダブル折り返し部1a''が折り返し部分1a'よりも裏側に位置するのに対して、他方の側（図面の左側）では、左側のダブル折り返し部1a''が折り返し部分1a'よりも手前側（表側）に位置している。
- [0054] 一方、裏側の生地1bの折り返し部分1b'の一方の側（図面の右側）では、右側のダブル折り返し部1b''が折り返し部分1b'よりも裏側に位置するのに対して、他方の側（図面の左側）では、左側のダブル折り返し部1b''が折り返し部分1b'よりも手前側（表側）に位置している。
- [0055] そして、ポケットPのポケット口1の一方の側（図面の右側）においては、裏側の生地1bの右側のダブル折り返し部1b''が表側の生地1aの右側のダブル折り返し部1a''よりも手前側（表側）に位置することと重ね合わされてポケット口1の右側の折り返し部29となっている。これに対して、他方の側（図面の左側）においては、裏側の生地1bの左側のダブル折り返し部1b''が表側の生地1aの左側のダブル折り返し部1a''よりも手前側（表側）に位置することと重ね合わされてポケット口1の左側の折り返し部29となっている。



その結果、ポケット口 1 における左右 2 つの折り返し部 2 9, 2 9 間において、2 枚の折り返し部分 1 a' と 1 b' の下端縁部分である 3 枚重ねの部分 2 4, 2 4 がいずれもポケット口 1 の幅方向の途中でねじられた状態となる。したがって、本発明のポケット口の閉止構造のさらに別の形態であって、ポケット口が上側にある場合においても、上述した場合と同様の作用、効果を発揮する。なお、前記 3 枚重ねの部分 2 4, 2 4 のねじられた点を、図 1 6、図 1 7 において符号 a で示す。

[0057] すなわち、左右 2 つの折り返し部 2 9, 2 9 間において、図 1 8 (a), (b) に示すようにポケット口 1 が形成されるので、このポケット口 1 から収納物 B をスムーズに投入することができる。そして、ポケット口 1 から収納物 B が一旦投入されると、2 枚の折り返し部分 1 a' と 1 b' の下端縁部分である 3 枚重ねの部分 2 4, 2 4 のねじられた点 a, a 間でポケット口 1 が閉じられるので、たとえ前かがみになったとしても、投入された収納物 B の上側中央部分が当該ねじられた点 a, a 間に引っ掛かるか、あるいは、投入された収納物 B の上側左右両隅 (コーナー) 部分が前記左右 2 つの折り返し部 2 9, 2 9 に引っ掛かるので、投入された収納物 B がポケット P のポケット口 1 から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口 1 から収納物 B が飛び出すのが防止される。

[0058] 図 1 5 (b) において、ポケット布 p と同じ幅を有して前記折目線 2 8 と前記折目線 3 2 上に端縁が来る大きさの布であってシャツ S の表布 s と同じ生地、いわゆる共布の左右及び上下両端縁を、ポケット布 p の左右両端縁上及び前記折目線 2 8 と前記折目線 3 2 上に揃えてその四周を重ね縫いしておく、図 1 5 (c) - (e) の工程を経て同図 (f) において符号 3 4 で示すようにポケット P をシャツ S の表布 s に縫着したとき、ポケット布 p の左右両端縁上及び前記折目線 2 8 と前記折目線 3 2 上に揃えて重ね縫いした前記シャツ S の表布 s と同じ生地が、表側の生地 1 a としてそのまま表側に現われるので、ポケット P の表側の生地 1 a と前記シャツ S の表布 s とが共布になり、極めて好都合である。

[0059] 図 1 5 において、3 枚重ねの部分 2 4 を符号 2 4' で示すように縫着するのは、ポケット布 p の端縁部分がほつれるのを防止するためであって、3 枚重ねでなくて例えば 2 枚重ねであっても良い。また、他の図面に示すポケット布の場合でもその端縁部においてこれと同じ処置、またはこれに近い処置が施されているのが一般的であるが、他の図面では図 1 5 に示すような詳細な説明は一切省略してある。なお、ポケット布 p の端縁部分がほつれない性質の生地を用いた場合には、図 1 5 に示すようなほつれ防止処理を施さなくても良い。

[0060] また、図 1 5 に示すような複雑な工程を経なくても、本発明によるポケット口の閉止構造のさらに別の形態のポケット P を極めて簡単に作製することができる。ポケット口が上側にある場合を例に挙げてその一例を示すと、例えば図 2 2 に示すように、表側 (外側) の生地 1 a の内方への折り返し部分 1 a' と裏側 (内側) の生地 1 b の内方への折り返し部分 1 b' の下端縁部をそれぞれ上方に向けてそれぞれ折り返す。

[0061] そして、ポケット P の左側に相当する側では、表側 (外側) の生地 1 a 側のダブル折り返し部 1 a" 及びこのダブル折り返し部 1 a" と重なり合う前記折り返し部分 1 a' の下端縁部分とを、裏側 (内側) の生地 1 b 側のダブル折り返し部 1 b" と前記折り返し部分 1 b' の下端縁部分との間に差し込み、ポケット P の左側の表側 (外側) の生地 1 a と裏側 (内側) の生地 1 b とを図 2 0 の符号 3 5 で示すように縫着する。

[0062] 一方、ポケット P の右側に相当する側では、裏側 (内側) の生地 1 b 側のダブル折り返し部 1 b" 及びこのダブル折り返し部 1 b" と重なり合う前記折り返し部分 1 b' の下端縁部分とを、表側 (外側) の生地 1 a 側のダブル折り返し部 1 a" と前記折り返し部分 1 a' の下端縁部分との間に差し込み、ポケット P の右側の表側 (外側) の生地 1 a と裏側 (内側) の生地 1 b とを同じく図 2 0 の符号 3 5 で示すように縫着する。

[0063] すると、ポケット口 1 において、図 2 0、図 2 3 (a), (b) に示すように、ポケット口 1 の左半分では表側 (外側) の生地 1 a 側のダブル折り返し部 1 a" が裏側 (内側) の生地 1 b 側のダブル折り返し部 1 b" よりも上方に立ち上がり、ポケット口 1 の右半分では裏側 (内側) の生地 1 b 側のダブル折り返し部 1 b" が表側 (外側) の生地 1 a 側のダブル折り返し部 1 a" よりも上方に立ち上がる。

かくして、両ダブル折り返し部 1 a", 1 b" がポケット口 1 の幅方向の途中で左右反対方向にねじられることになり、上述した機能、作用、効果を発揮することができる。ねじられた点を、図 2 0、図 2 3 (a), (b) において符号 a で示す。

[0064] なお、上述の差し込み方をポケット P の左側に相当する側と右側に相当する側とで逆にしても良い。すなわち、ポケット P の左側に相当する側では、裏側 (内側) の生地 1 b 側のダブル折り返し部 1 b" 及びこのダブル折り返し部 1 b" と重なり合う前記折り返し部分 1 b' の下端縁部分とを、表側 (外側) の生地 1 a 側のダブル折り返し部 1 a" と前記折り返し部分 1 a' の下端縁部分との間に差し込み、ポケット P の左側に相当する側において、表側 (外側) の生地 1 a と裏側 (内側) の生地 1 b とを図 2 0 の符号 3 5 で示すように縫着する。

[0065] 一方、ポケット P の右側に相当する側では、表側 (外側) の生地 1 a 側のダブル折り返し部 1 a" 及びこのダブル折り返し部 1 a" と重なり合う前記折り返し部分 1 a' の下端縁部分とを、裏側 (内側) の生地 1 b 側のダブル折り返し部 1 b" と前記折り返し部分 1 b' の下端縁部分との間に差し込み、ポケット P の右側に相当する側において、表側 (外側) の生地 1 a と裏側 (内側) の生地 1 b とを同じく図 2 0 の符号 3 5 で示すように縫着する。

このようにした場合でも、ダブル折り返し部 1 a" とダブル折り返し部 1 b" の立ち上がり状態が、上記の場合とは左右逆になるものの、機能、作用、効果の面では変わるところがない。

[0066] なお、図 6 (a) に示す形式のポケットの受底部 8 側においても、ポケット P の幅方向の途中で左右反対方向にねじる技術を適用することができる。すなわち、前記受底部 8 を形成するために、外側に位置するポケット布 p o を折り返した部分 p' の上端縁 p" を、取出口 9 の幅方向の途中で左右反対方向にねじる。例えば、図 6 (b) に示すように、当該上端縁 p" を同図の右側では手前側に折り返してその端部を縫着し、同図の左側では内側のポケット布 p i 側に折り返してその端部を縫着する。

[0067] すると、同図に示すように、ポケット布 p o の折り返した部分 p' の上端縁 p" 部分が取出口 9 の幅方向の途中で左右反対方向にねじられた状態になり (ねじられた点を符号 a で示す)、点 a と点 a の間である中央部分が起き上がった状態になる。したがって、前記受底部 8 に通じる通路をより確実に閉鎖することができ、受底部 8 で受け止められた収納物 B が前記通路を経て取出口 9 から滑り落ちるのをより一層防止することができる。一方、取出口 9 の幅方向の中央部分が起き上がった状態になっているの

で、前記受底部 8 に通じる取出口 9 から手指を差し込みやすく、受底部 8 で受け止められている収納物 B を取出口 9 からスムーズに取り出すことができる。

[0068] 図 1、図 7、図 9、図 10、図 13、図 19、図 24 に示すように、ポケット P をシャツ S の表布 s に縫着する際、ポケット P の表側にシャツ S の表布 s と同じ生地を重ね合わせてその上端縁を除く三方をポケット P とともに縫着すると、ポケット P の表側に別のポケットが重なり合うごとく形成されるので、このポケットを通常のポケットと同じように利用することができる。ポケット P の表側に重ね合わせるシャツ S の表布 s と同じ生地の上端縁を、ポケット P よりも多少大きくしておくと、この大きな生地内で内側のポケット P のポケット口 1 を見えないようにできるので、これまた好都合である。

[0069] なお、図示はしないが、図 2、図 7、図 9、図 10、図 13、図 19、図 24 などにおいて、ポケット P の左下側に現われるコーナー部分を、直角ではなく斜めに切り欠かれたような形状にしておくと、ポケット P に投入した収納物がポケット P 内で妄りに動くのを防止することができるので、有利である。

[0070] 以上説明したように、本発明の特徴とするところは、ポケット布端縁部をポケット内方に折り返すとともに、折り返された部分の下端部をポケット口の幅方向の途中でねじる点にあり、このようにねじることによってポケット口 1 から収納物 B を投入する場合はその部分が開いてねじられた部分から収納物 B がポケット内にスムーズに投入されるようにするとともに、収納物 B が通過するとポケット内方のねじられた部分に形成される袋状の部分で、ポケット内に投入された収納物 B を受け止めて収納物 B がポケット口から滑り落ちたり、運動中など飛び上がったときにポケット口 1 から収納物 B が飛び出すのを防止することができるようにしたものである。

[0071] ここに示す例は本発明を実施するための形態の一例であって、本発明の実施に際して、各部の形状は図示した態様の場合のみに限定されるものではなく、本発明の要旨に沿って種々の設計変更が可能である。

## 産業上の利用可能性

[0072] 本発明は通常のシャツのほか、上衣やブルゾン、ブラウスその他各種の衣類やズボン、スラックスのようなボトムスのポケットに、また、これらのものの様々な形態の内ポケットや外ポケットに広く適用することができる。

## 符号の説明

[0073] 1...ポケット口、2...縫合、3...ポケット布の上端縁を内側に折り返した部分、3<sub>1</sub>...ねじって起された部分、4...縫合、6...ポケット布の下側を内側に折り返して袋状とした部分、7...縫合、8...受底部、9...取出口、10...外側のポケット布の上端縁を内側に折り返した部分、10<sub>1</sub>...ねじって起された部分、11...縫合、13...内側のポケット布の上端縁をポケット内方に折り返した部分、13<sub>1</sub>...ねじって起された部分、14...縫合、16...外側のポケット布の上端縁を内側に折り返した部分、16<sub>1</sub>...ねじって起された部分、17...縫合、19...内側のポケット布の上端縁をポケット内方に折り返した部分、19<sub>1</sub>...ねじって起された部分、20...縫合、24...3枚重ねの部分、29...折り返し部、32'...上端縁部分、1a...表側の生地、1a'...折り返し部、1a''...ダブル折り返し部、1b...裏側の生地、1b'...折り返し部、1b''...ダブル折り返し部、a...反転させてねじった点、S...シャツ、s...表布、P...ポケット、p...ポケット布、p'...折り返した部分、p o...外側に位置するポケット布、p i...内側に位置するポケット布、B...ポケットに投入した収納物。

## 請求の範囲

[請求項1] ポケット布端縁部をポケット内方に折り返すとともに、折り返された部分の端部をポケット口の幅方向の途中でねじった状態でポケット口の両端を縫着し、ねじられた部分でポケット口を閉止し得るようにしたことを特徴とするポケット口の閉止構造。

[請求項2] ポケットが内外2枚のポケット布で形成されている場合において、内外2枚のポケット布端縁部をポケット内方に折り返すとともに、2枚の折り返された部分の端部をそれぞれポケット口の幅方向の途中で反対方向にねじった状態でポケット口の両端を縫着し、2枚の反対方向にねじられた部分でポケット口を閉止し得るようにしたことを特徴とする請求項1記載のポケット口の閉止構造。

[請求項3] ねじって起された部分において、ポケット口の外側を幅方向に一定幅縫合してポケット口を小さくしたことを特徴とする請求項1又は2記載のポケット口の閉止構造。

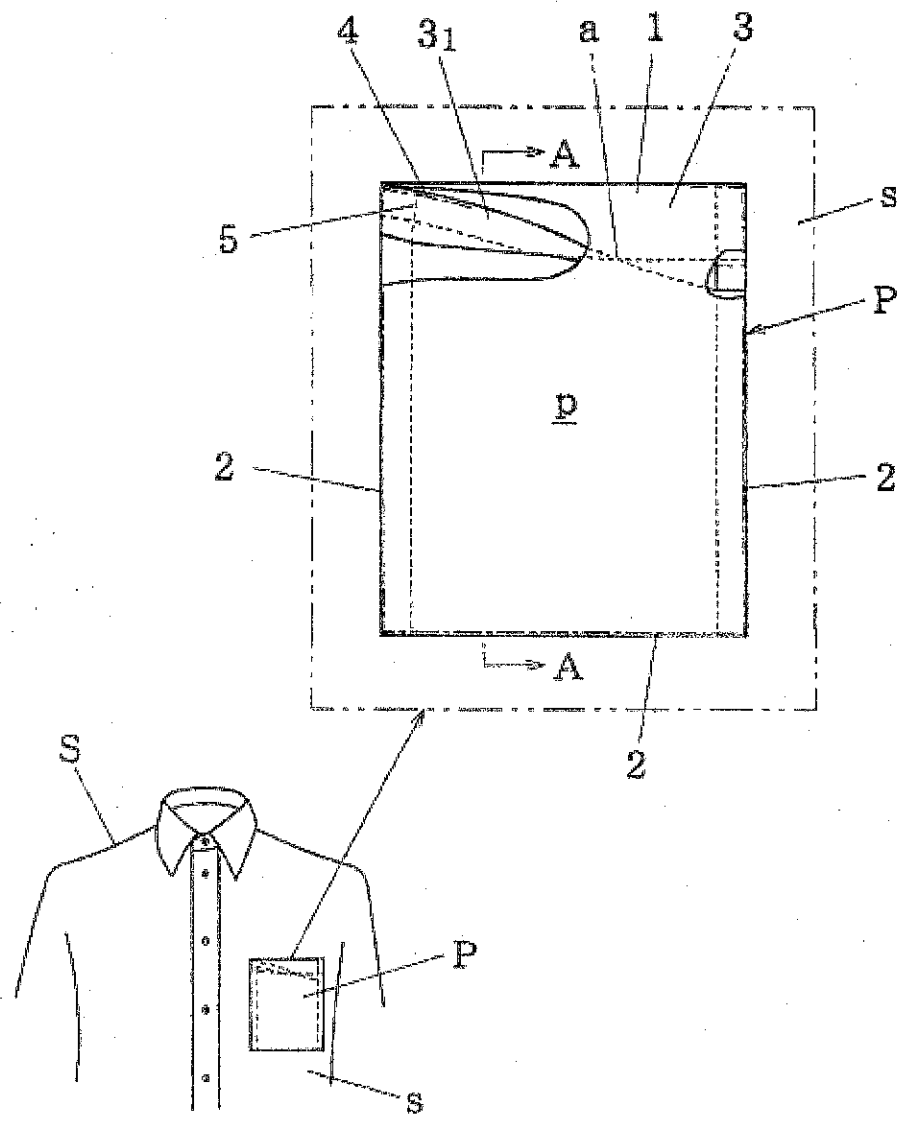
[請求項4] ポケット布の下側を内側に折り返して袋状とし、その下縁から一定高さ隔てた折り返し端縁を、衣類の表布に横方向に縫着したことを特徴とする請求項1又は2記載のポケット口の閉止構造。

[請求項5] ポケット口から投入した収納物を受け止める受底部を有し、この受底部に通じる取出口を衣類の表布との間に設けたことを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載のポケット口の閉止構造。

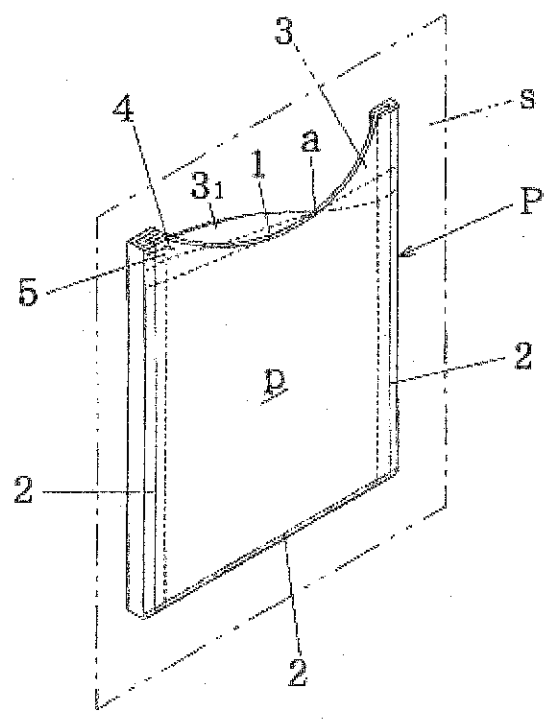
[請求項6] ポケット口が上向きではなく、横向きあるいは斜めを向いていることを特徴とする請求項1、2、3、5のいずれか1項に記載のポケット口の閉止構造。

## 図面

[図1]

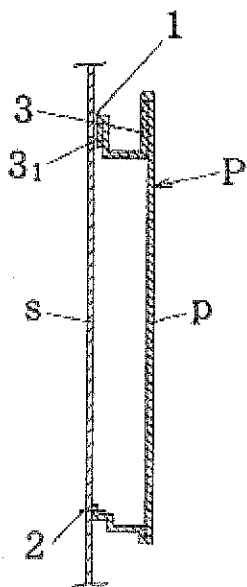


[ 図 2 ]

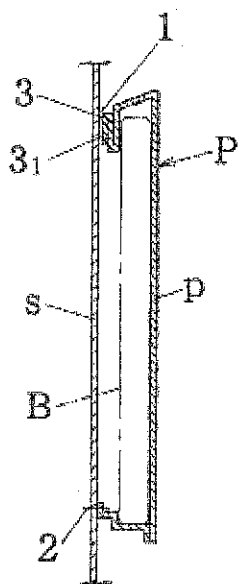


[ 図 3 ]

(a)

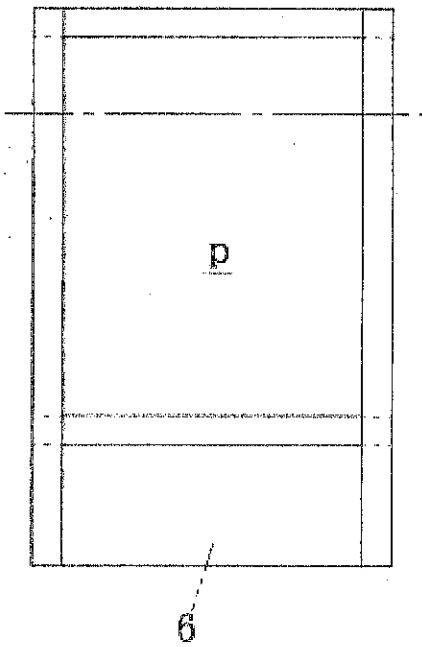


(b)

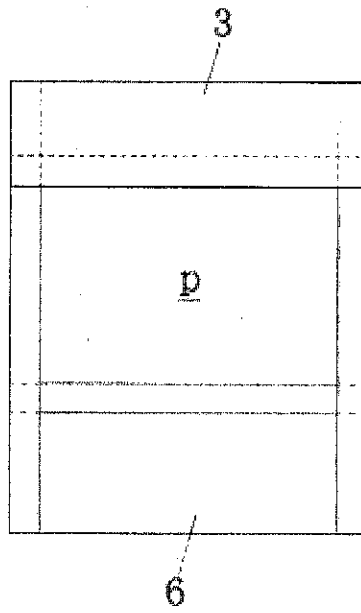


[ 4 ]

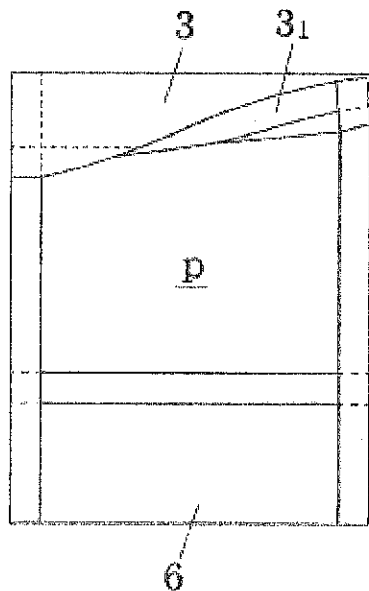
(a)



(b)

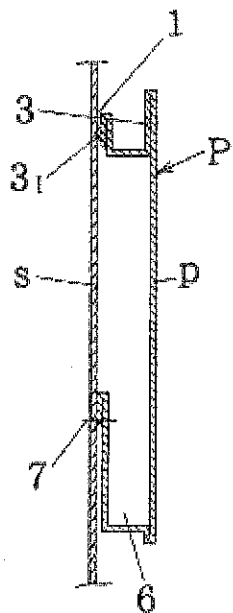


(c)

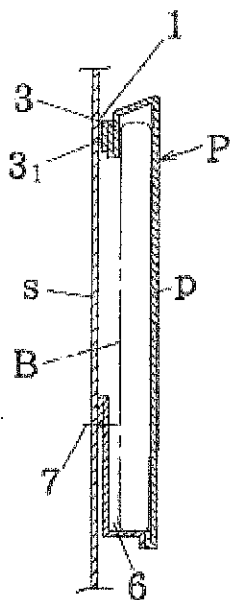


[ 5 ]

(a)

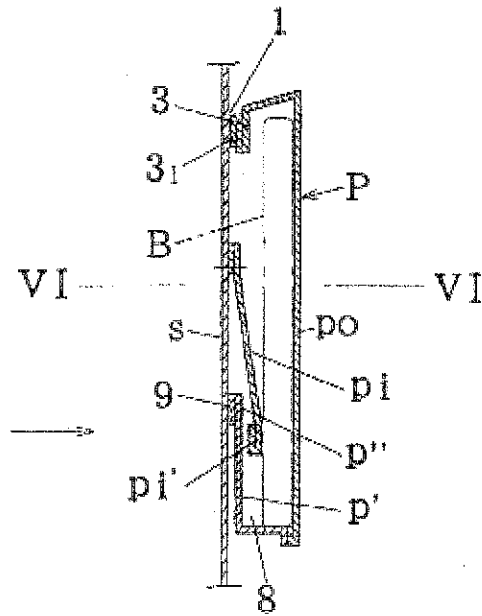


(b)

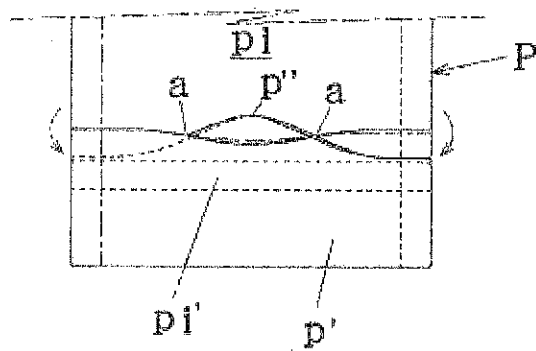


[ 図 6 ]

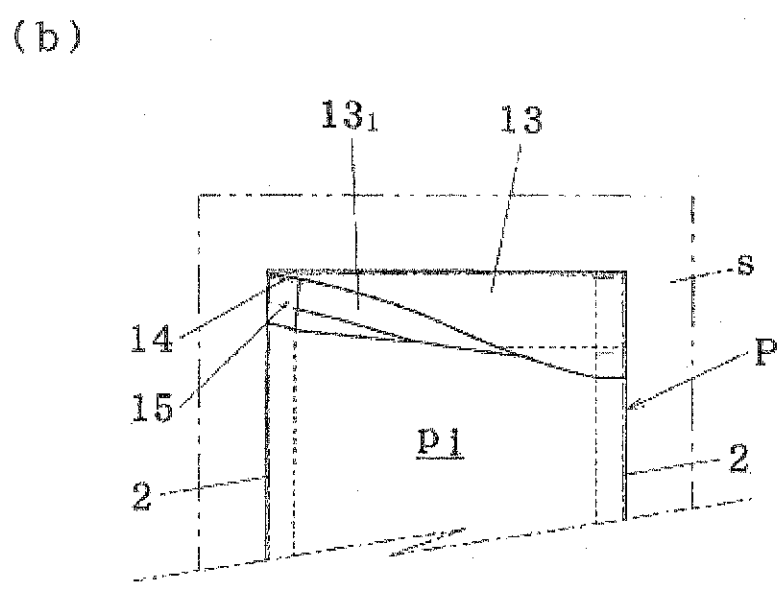
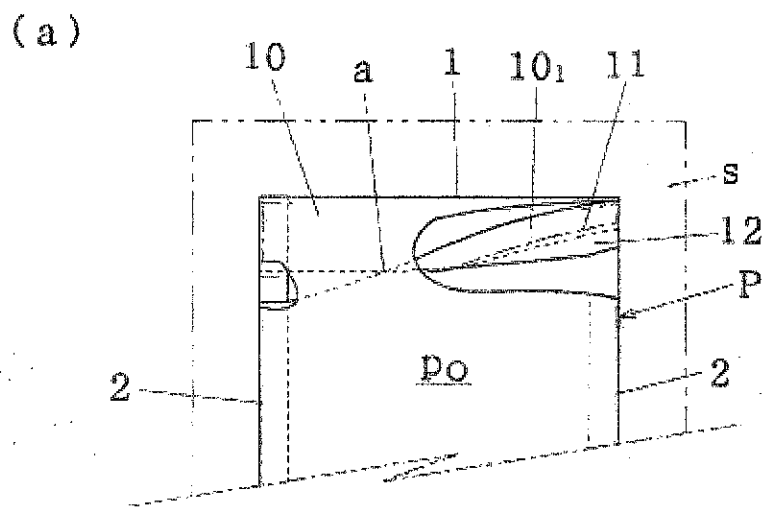
(a)



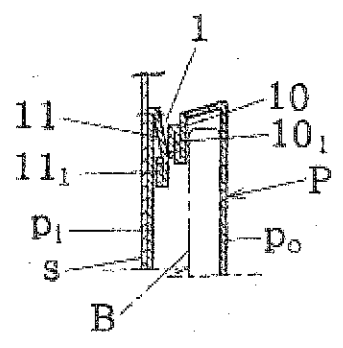
(b)



[ 図 7 ]

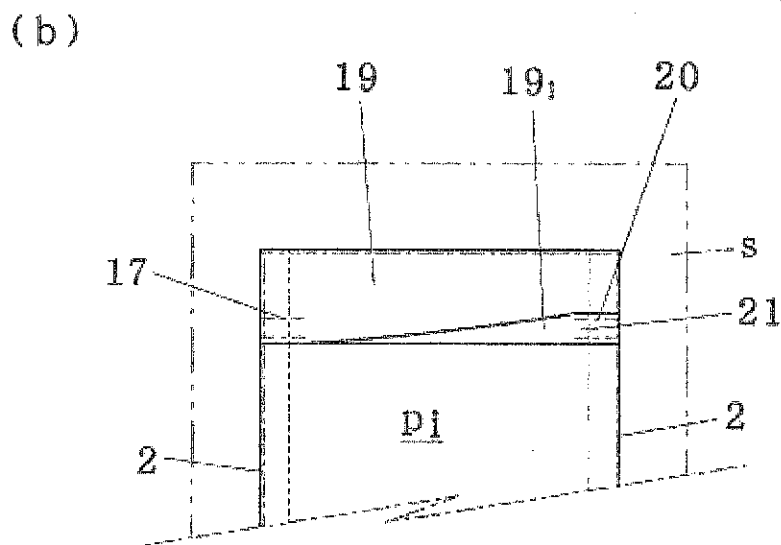
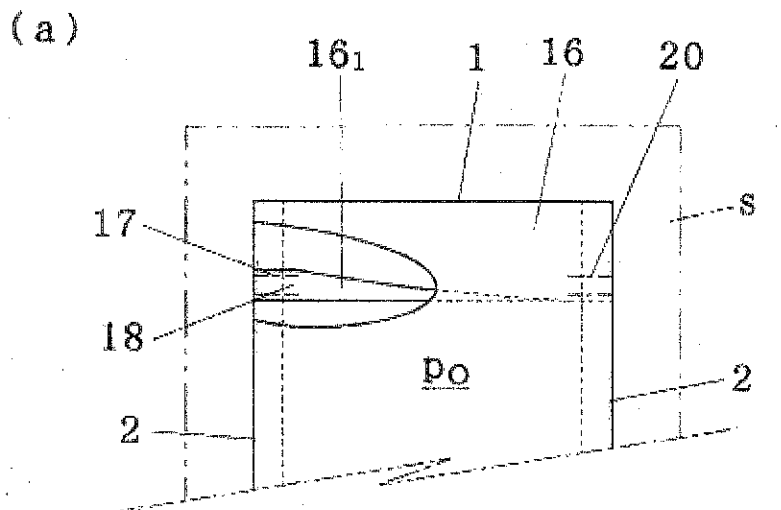


[ 図 8 ]

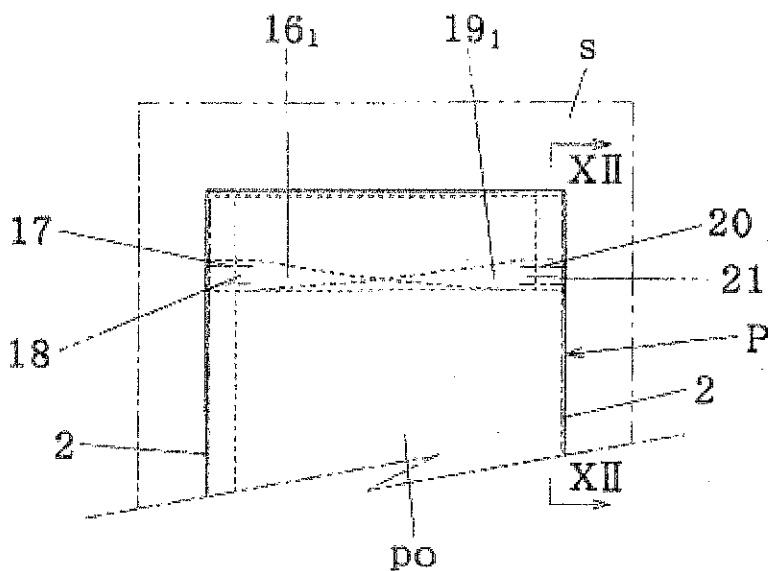


[ 図 9 ]



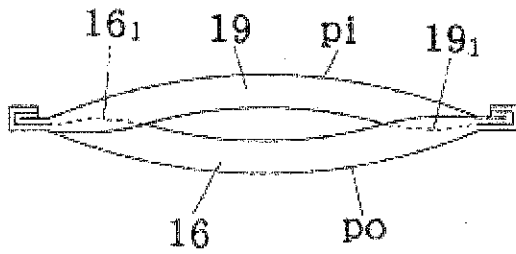


[ 図 10 ]

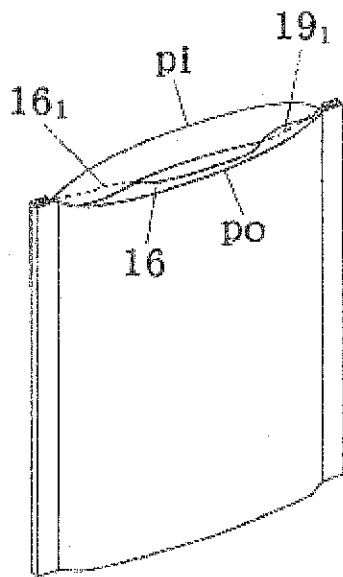


[ 図 11 ]

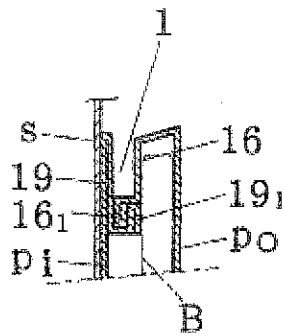
(a)



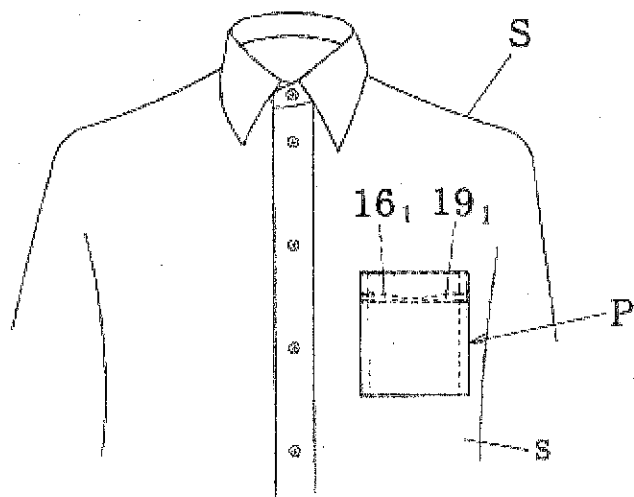
(b)



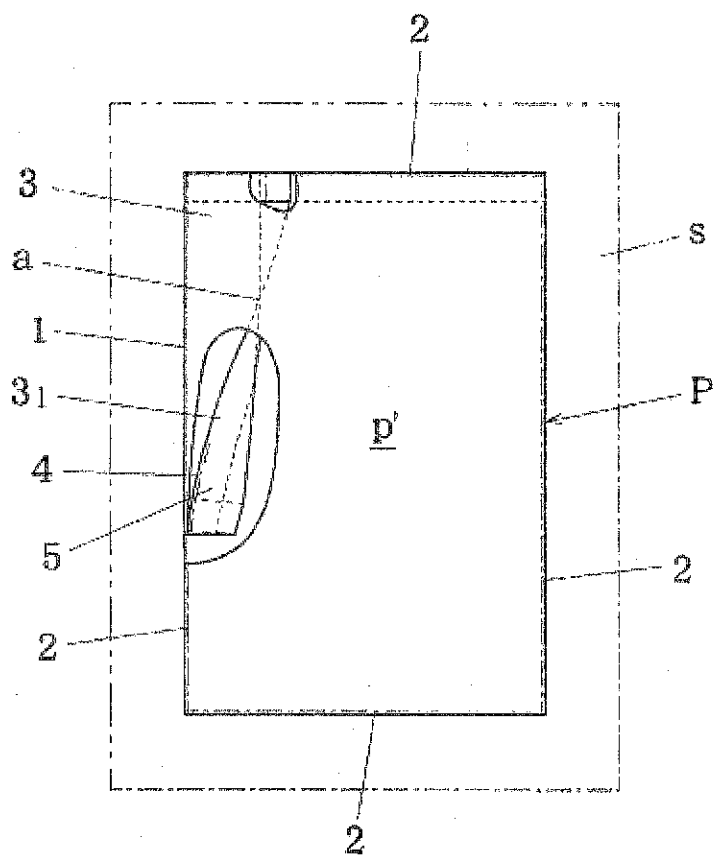
[ 図 12 ]



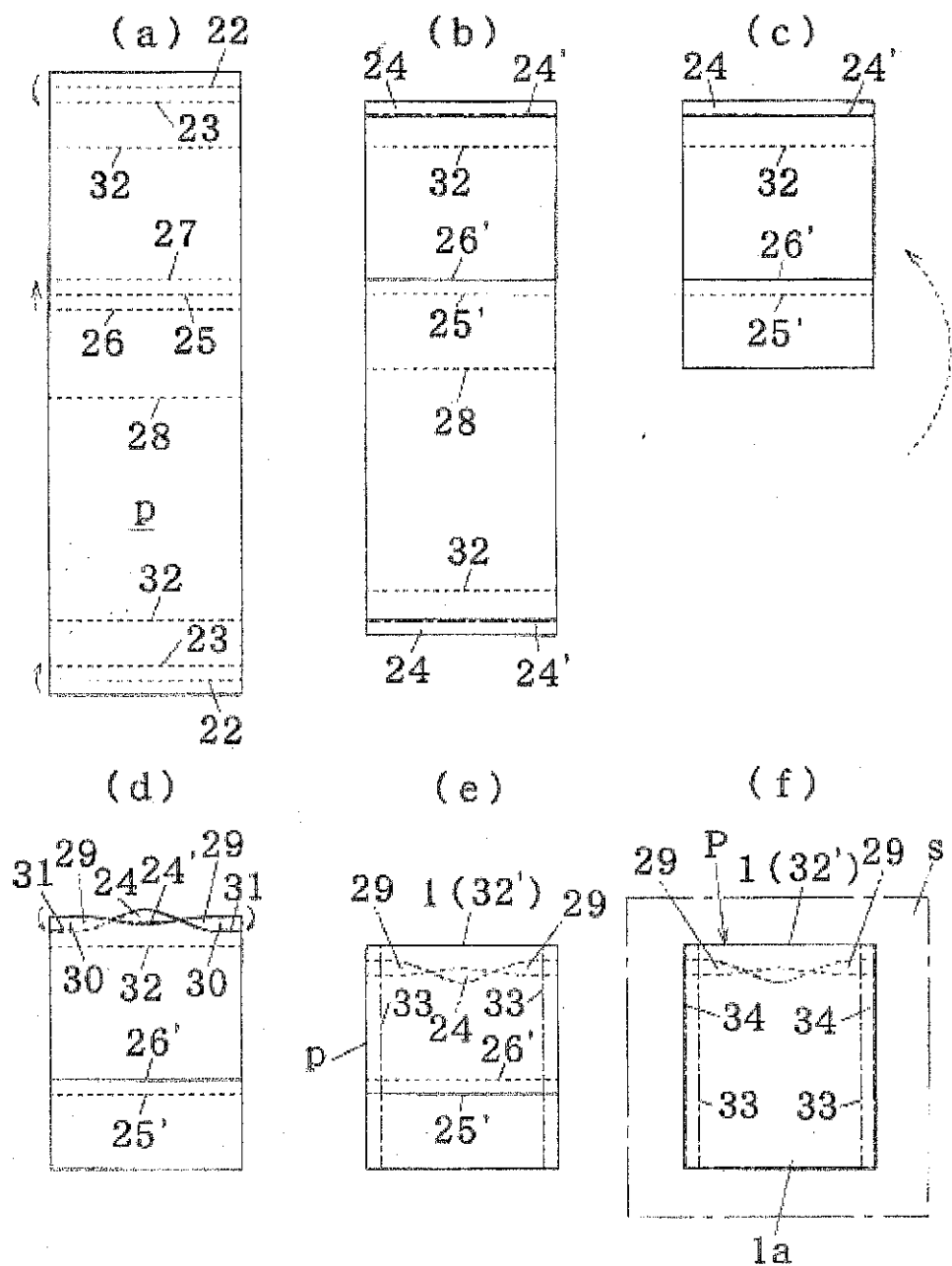
[ 図 13 ]



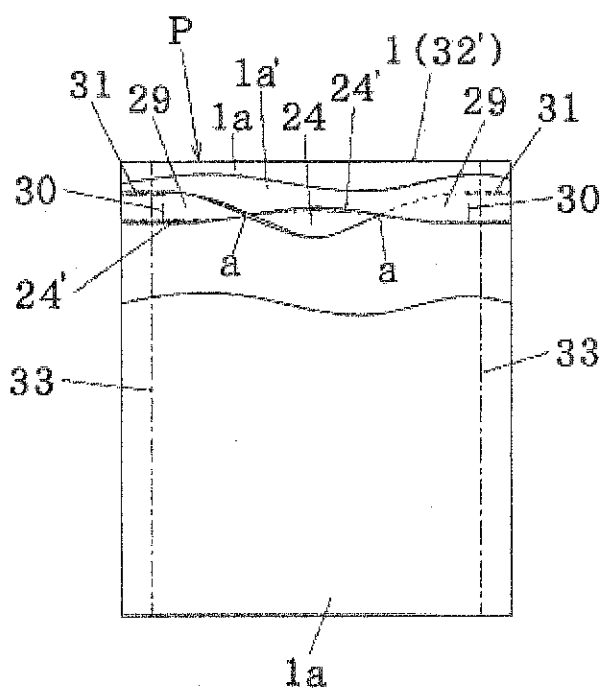
[ 図 14 ]



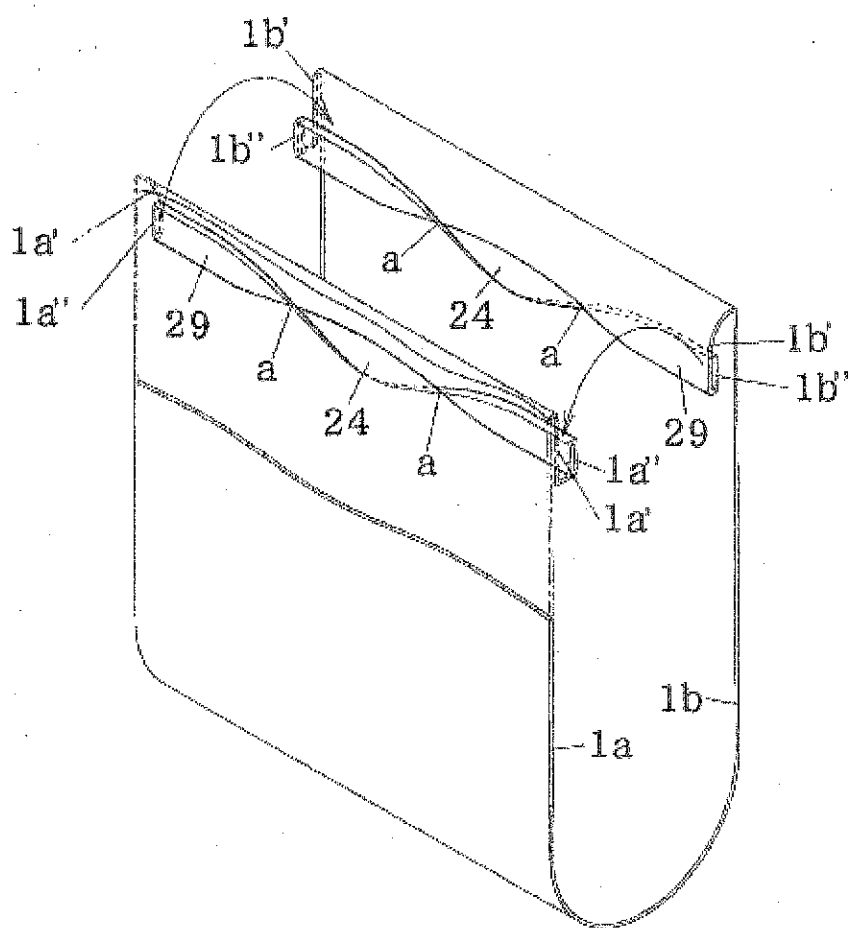
[ 図 15 ]



[ 16 ]

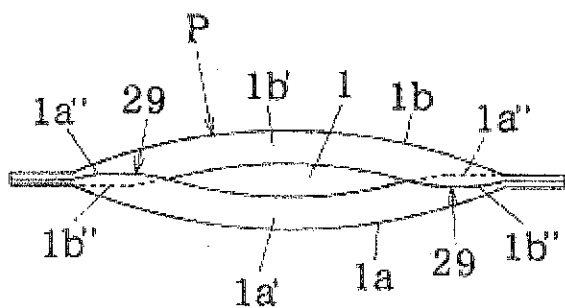


[ 図 17 ]

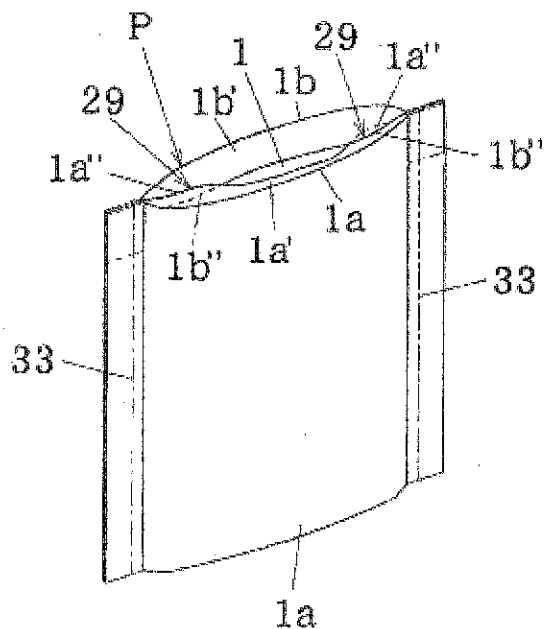


[ 図 18 ]

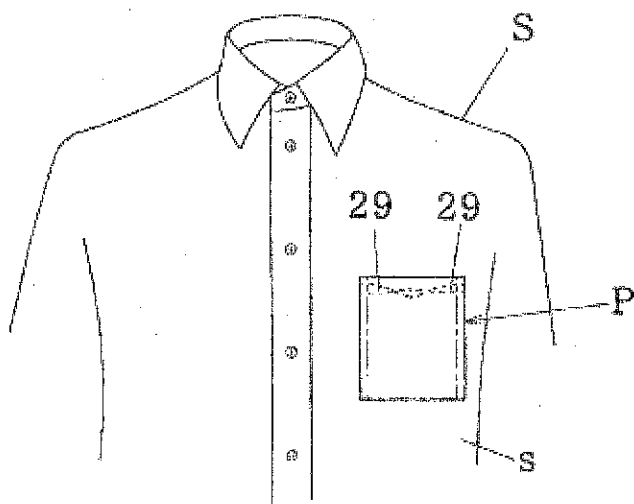
(a)



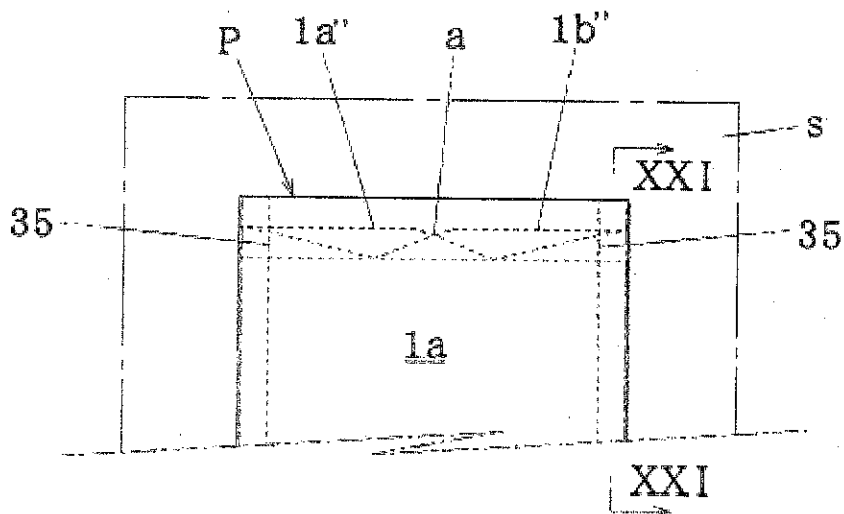
(b)



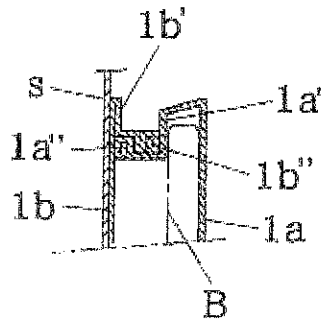
[ 図 19 ]



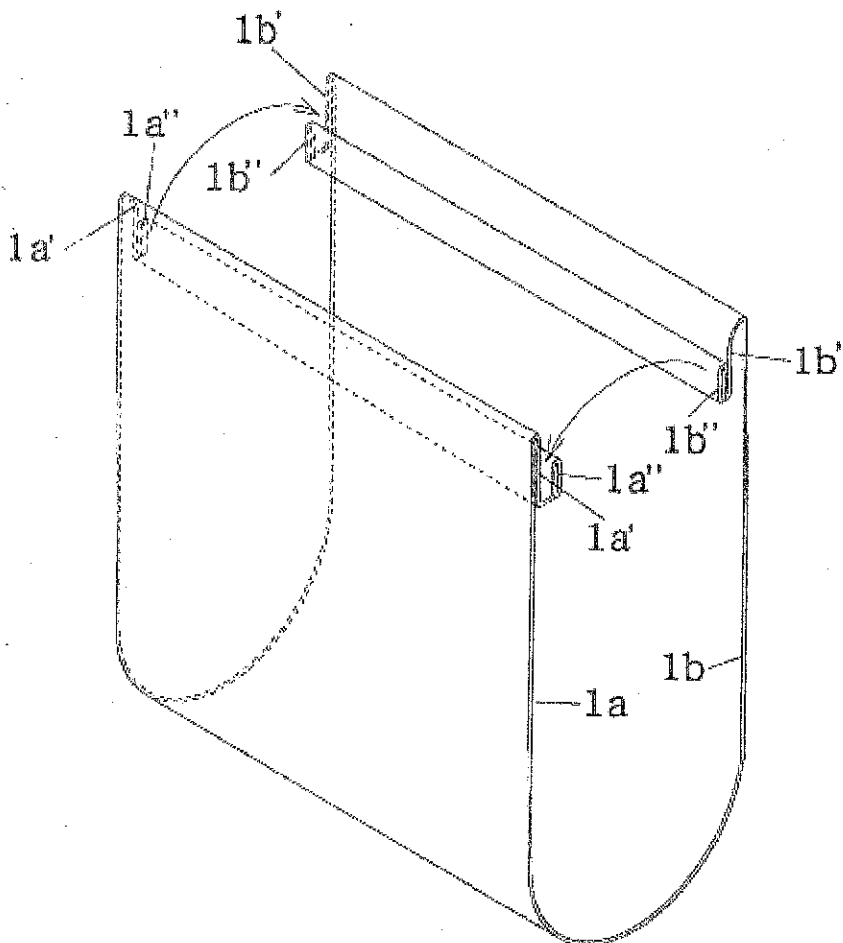
[ 図 20 ]



[ 図 21 ]

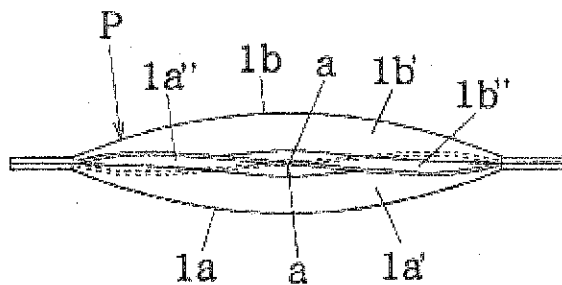


[ 図 22 ]

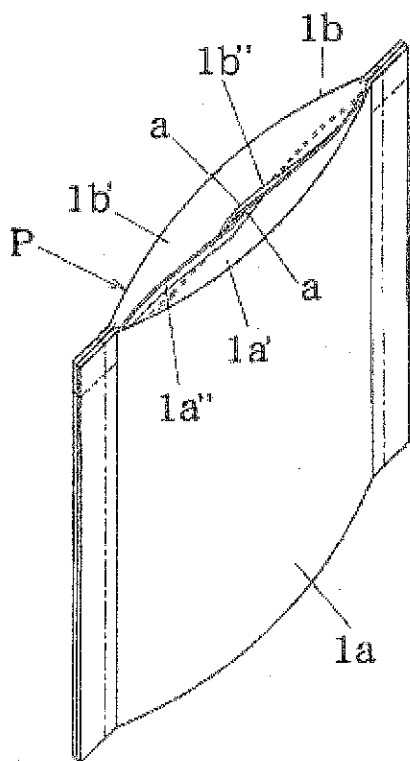


[ 図 23 ]

( a )



( b )



[ 図 24 ]

